見学調査報告書

テーマ: リトル・ブラジル体験 in 大泉町

ゼミ名 : 舟木 律子ゼミ

調査日 : 2022 年 6 月 4 日 (土) 調査先 : 群馬県邑楽郡大泉町

授業科目名: 演習 I

参加学生数: 6名(3年)

調査の趣旨(目的)

大泉町は、南米をはじめとする新興国からの日系および外国籍住民が人口の2割(約7800人)を占める多文化共生の先進地域である。見学調査は演習で学んでいる地域と日本との関係について理解を深める目的で実施された。今回は特に、日伯学園にて開催されるフェスタ・ジュニーナ(6月いなか祭り)に参加し、ブラジルの伝統的な祭りを体験することと、観光協会・日本定住資料館、移民・逆移民の歴史について学んだ。

調査結果

日伯学園のフェスタ・ジュニーナでは、日伯学園で学ぶ日系ブラジル人の子どもたちによるダンスや、参加型のゲーム、ブラジルの伝統的な料理について、体験的に学ぶことができた。日伯学園では基本的な授業は、ブラジルの教育課程に従い全てポルトガル語で提供されており、日本語教育も補完的に実施されている。多くの学園関係者や地域コミュニティが参加していたフェスタの会場で、学生たちは、ブラジルのローカルなお祭りの雰囲気を体験することができた。

また、大泉町の観光協会・日本定住資料館では、大泉町観光協会独自の貴重な展示資料から、その歴史的背景とともに、実際に日本からブラジルに渡り、その後の世代で日本に「デカセギ」に来た人々の経験を具体的に学ぶことができた。

